

難しい時ほど面白い—徹底調査で解決探る

理事長室から

木下 統晴



リーダーシップ論という大学院での講義を毎年3回担当します。その中で社会人大学院生の方からとても面白い質問がありました。「先生はどんな厳しい仕事も面白がって取り組んできたと話されましたが、自分は今の仕事あまり面白いというように思いませんが、どうしてでしょう」

「良い質問です。それはやらされ仕事になっていませんか？やらされ仕事は面白くないです」と答えました。私もこれまで手に負えないような難しい仕事をいくつも経験してきました。その時はどの様にしてこれを解決しようかと色々な方向から考え、三現主義（現物、現場、現状）、徹底調査で、解決に結びつけました。難しい時ほど面白いと考えます。何故か、何故かを深く追求することはすごく面白いことです。

会社でクレームを担当した時に、こんなことがありました。バイアルのゴム栓を注射針で刺すと針の角度が悪い場合、ゴム栓が削れてゴムの破片がバイアルに入ることがあります。それをコアリングと言います。材質をFT-IRで調べるとすぐにゴムとわかるのですが、その時はゴムではありませんでした。

マイクロスコープで見るとゴムの様です。そこで電子顕微鏡

で調べてみました。そうするとゴムとは全く異なる画像が出てきました。その画像をもとに、どこから来たのかを推定していくと、最も近いのがフィルターの電子顕微鏡画像でした。そのことから、フィルターの可能性が高いと考えました。工場内で使用しているフィルターを電子顕微鏡で調べても違ってきます。医療現場で使用されているフィルターの可能性が考えられました。

調査結果を病院に報告に伺いました。病院からはご理解を得ることができました。普通の顕微鏡だけでは見ることができなかったため、もう一步踏み込んで電子顕微鏡を使用したことが解決のポイントになりました。

回収となった場合、多くの人と時間を要し、経費としても約5億円もかかります。勿論、健康被害などが予測される場合は、迅速に対処しなければなりません。医療現場でもこのようなことが発生します。医療に携わる皆さんには、患者さん第一で確実な仕事を学生時代から心がけてください。

本学の四綱領①仁愛（医療人として患者さんを第一に考える）、②思慮（よく考え、おもんばかること）、③知識、④技術です。



一号館入り口に掲げられている四綱領の額

頑張ってます！

OB・OG訪問

本学リハビリテーション学科言語聴覚学専攻1期生の坂本純さん(30)は、現在、九州リオン株式会社で補聴器の効果確認や調整等に取り組んでいます。坂本さんから、後輩に向けメッセージが送られてきました。



九州リオン株式会社勤務 坂本純さん(30)

難聴者の聴能改善目指す 成長信じ新しいことに挑戦を

言語聴覚学専攻の1期生として勉学に励み平成25年卒業後、熊本県社会福祉事業団ひばり園で難聴児や発達障がい児の療育に4年従事しました。現在は九州リオン株式会社で医用検査機器の営業と、補聴器により生活が豊かになるように効果の確認や調整を行っております。特に、STとして力を発揮しているのが、聴き取り改善を目的とした聴能トレーニングで、11名のST(うち熊本保健科学大学卒業生4名)と協力しながら難聴によるコミュニケーション障害の改善を目指しています。

小児・成人と一貫して聴覚障害に携わった経験から、“聴覚障害は目に見えない障害だ

からこそ、周囲の理解が大切だ”ということを感じています。

昨今は何をすることも制限が多く、もどかしいことが沢山あると思いますが、今ある時間を大事に使って様々な経験をして欲しいと思います。もちろん周囲の理解も大切ですが、特に新しいことに挑戦するチャンスが目の前にある時は勇気を出してチャレンジして欲しいです。どんな結果になっても良い経験(失敗しても笑い話)になり、必ず成長できます。自分の成長を信じてどんどん突き進んでいきましょう！

「チャレンジ熊保大！」に223人 大手予備校が過去問講座



英語の対策講座を受講する高校生たち

推薦選抜対策講座「チャレンジ熊保大！」が8月28日(日)、本学にて実施されました。この企画は、学校推薦型選抜を希望する生徒を対象に熊本の大手予備校「壺溪塾」の講師陣が本学の英語・国語・数学の過去問題をもとに受験対策について解説するもので、毎年恒例の催事となっています。

当日は223人(生徒158人、保護者65人)が参加。新型コロナウイルス感染対策を講じながら対面形式で実施しました。また、生徒と一緒に参加した保護者においては、大学概要・入試概要の説明や大学見学ツアーなどのプログラムを用意し、本学のことを詳しく紹介しました。(安部悠介)

銀杏アラカルト

◆宇土高校生が本学訪問 宇土高校の生徒12人(1年4人、2年8人)が、8月24日(水)本学を訪問しました。大学概要について説明を受けた後、リハビリテーション学科理学療法学専攻と医学検査学科を見学しました。生徒たちは、マウスを使った実験や血液成分解析の様子など、本学での学びの一端に触れ、興味深そうに説明を聞いていました。(安部悠介)



医学検査学科の上妻准教授から血液成分解析の説明を聞く宇土高校の生徒たち

週間行事予定（9月3日～9月9日）	
9 / 4（日）	オープンキャンパス
9 / 6（火）	大学訪問（城北高校）
9 / 8（木）	第50回九州地区学生指導研究集会、大学院修士学位論文中間発表会